

## 巻頭言

本誌は2012年に創刊された「恵寿総合病院医学雑誌」の第8巻にあたります。本巻には原著7編、症例報告1編が掲載されています。尿管結石の治療、病院の言葉、手術の質の評価、尿道結石の治療、服薬指導、分娩の日めくりパス、経直腸的前立腺生検時の基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ(ESBL)産生菌への対応、ペムプロリズマブが著効した転移性尿管がんの一例です。通常業務に加えての執筆作業には執筆者はもちろん、執筆協力者にも多大な労力があつたと思います。当事者には何らかの形で必ず苦労は報われるはずですが。

本巻頭言執筆は2020年(令和2年)3月12日ですが、新型コロナウイルス感染(COVID-19)が流行しており、国内感染者が500例を突破しました。潜伏期が長いこと、簡易検査キットがないこと、若者などの無症状感染者が感染源となるらしいことなどが、この感染症克服を困難にしています。感染拡大防止のため、小・中・高校は休校し、春の選抜高校野球大会は中止となり、研修会・講演会などはほとんど中止または延期となっています。これはウイルスのクラスター拡散を防ぐためです。

当院でも、感染疑い患者の来院に備えて患者の対応シミュレーションを行ったり、マスクやゴーグルなどの感染防護具(PPE)を備えるなどの診療体制を整えたり、職員の出勤前体温チェック、37.5度以上の発熱があれば出勤停止、外部訪問者来訪禁止などの管理体制を整えたりしています。

人は、人を助けたいと思う本能、分かっていないものを知りたいという探求心、そして知った喜びを他の人にも知ってほしいという共感力があります。これらは論文などの執筆のモチベーションの基礎になります。COVID-19もこれら人が持っている力を発揮すれば、近いうちに克服できるはずですが。本巻が発刊されるときにはこんな事もあつたなど言えることを確信しています。

最後に第8巻の発刊を祝するとともに、第8巻発刊に際し、大変なご苦労をされた川村編集長と長浦編集補佐に御礼申し上げます。

2020年3月吉日

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院  
病院長 鎌田 徹